



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1732 回例会

平成 25 年 1 月 21 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 54 名 出席者数 43 名

出席率 73.58% 前回修正出席率 84.91%

4. 会長スピーチ

会長 花田 宗弘 君

今年度も早後半に入りました。あと半年よろしくお願ひ致します。

新春夫婦例会時の台湾彰化東南 RC の来日に際し、寺下、三木、小椋会員にはお忙しい中、色々とおめんどろを見ていただき有難うございました。

先週 17 日に行われました理事会で決定しました、後半のプログラムのスケジュールを報告致しますので、多くの方が参加して頂ける様お願い致します。

1 月 25 日 会長経験者会議

2 月 I DMをお願いしたいと思います

3 月 3 日 海南西 RC 20 周年記念式典

14~17 日 (4 日間)

マンドゥエー RC 訪問 (フィリピン)

20, 21 日 宮崎中央 RC 訪問

4 月 1 日 花見例会 (温山荘)

7 日 家族会 (神戸ホテルオークラ)

15 日 工場見学 (会員事業所)

5 月 12 日 たんぽぽの会 カヌー体験

6 月 23 日 国際大会

(ポルトガル リスボン) 5~10 日間

今日は昨年地区大会時に、講演された東大阪の町工場の青木社長の DVD とふりこめ詐欺防止の DVD を見て頂きます。

5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山東 RC 1 月 31 日 (木) → 1 月 31 日 (木)
18:30~ ダイワロイネット H
(ご長寿お祝い例会)

岩出 RC 2 月 14 日 (木) → 2 月 10 日 (日)
14:00~15:00 那賀高校講堂
那賀高校吹奏楽部による演奏

きさらぎコンサート例会
2 月 28 日 (木) → 2 月 24 日 (日)

14:30~ 橋本商工会館
(IM4 組 合同例会)

6. “まいど” 青木社長の DVD

東大阪の町工場が集まって製作し、見事打ち上げに成功した人工衛星「まいど 1 号」。



その発起人であり、生みの親とも言える青木豊彦・(株)アオキ社長が、プロジェクトにかけた思いやその顛末、モノづくりへの情熱、航空宇宙産業を大阪の地場産業にすることを目指し、いま新たにスタートさせた取組みなどについて DVD とふりこめ詐欺防止の DVD 鑑賞。



7. 閉会点鐘

次回例会

第 1733 回例会 25 年 1 月 28 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話 角谷 勝司 様

2013 年国際大会は、6 月 23~26 日、ポルトガルのリスボンで開催されます。国際大会に是非、皆さん！ご出席ください。



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 SAA：那須 正志

<http://www.kainaneast-rc.jp>E-mail: info@kainaneast-rc.jp



ニコニコ・BOX



Happy Birthday

◆ 1月お祝い ◆

○会員誕生日

1日 中尾 享平君 11日 平尾 寧章君

○奥様・旦那様誕生日

2日 中尾 みち子様 29日 塩崎 和櫻様

7日 魚谷 佳加様 30日 大谷 洋子様

○結婚記念日

9日 朝井 修君 20日 那須 正志君

10日 阪口 洋一君 28日 大谷 徹君

○一般ニコニコ

三木 正博君 ポール・ハリス・フェローとして認証されました。
柳生 享男君 皆様、おかげ様で良くなりました。ありがとうございました。
中尾 享平君 ご会葬御礼



国際ロータリー ニュース

ポリオ撲滅には

ロータリーのリーダーシップが必要

米国サンディエゴにて 2013 年ロータリー国際協議会が開催される中、世界保健機関 (WHO) でポリオ関連の副責任者を務めるブルース・アイルワード氏が講演しました。インドのポリオ無発生を例にとっても、世界で最も困難な保健問題に取り組むロータリーの力が実証



世界保健機関 (WHO) でポリオ関連の副責任者を務めるブルース・アイルワード氏。1月16日、国際協議会にてポリオの最新情報を説明しました。

されていると述べ、ロータリーの貢献を称えると同時に、この仕事を完遂するには、引き続きロータリーのリーダーシップが不可欠であることを強調しました。

協議会に出席したガバナー・エレクトを前に、アイルワード氏は世界のポリオ最新情報を説明し、また最近パキスタンで発生した予防接種従事者の襲撃事件にも触れました。WHO はボランティアや保健従事者の安全を確保するため、イスラム教社会から広く協力を得られるよう努力しています。「ポリオ撲滅活動は、これまでもさまざまな困難に直面してきましたが、方策や態勢を変えて難所を乗り越えてきたように、パキスタンでも引き続き、活動を続けていきます」WHO、ユニセフ、米国疾病対策センターとともにロータリーが協力する世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) において、アイルワード氏は、インドで2年間、ポリオが無発生であることを説明しました。「インドではポリオ撲滅

は無理」という専門家たちの予想を覆し、インドは昨年2月、ポリオ常在国リストから除外されました。今年1月13日まで、ポリオ検査で陽性の結果が出ない限り、インドで野生型ポリオウイルスの感染が抑止されたことがWHOによって正式に宣言されます。残るポリオ常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国です。現在ポリオが発生していない国でも、ウイルス流入の危険性があるため、全世界でポリオを撲滅するには、全地域で予防接種を続ける必要があります。GPEI におけるロータリーの主な役割の一つがアドボカシー活動 (政府や民間への働きかけ) ですが、ポリオ撲滅の実現が近づいている今、この働きかけが大変重要なものとなっています。ロータリーは1985年以来、ポリオ撲滅のために10億米ドル以上を寄付してきました。これに加え、ドナー国から90億ドル以上を確保する上でもロータリーが貢献してきました。今年、GPEI は7億ドルの資金不足に直面しており、目標を達成するにはアドボカシー活動が必要不可欠です。ポリオ撲滅は私たちの手の届くところにあり、ロータリアンの協力が欠かせない、とアイルワード氏は訴えます。「ロータリーはこの疾病を撲滅するという歴史的な機会を与えてくれました。ロータリーのリーダーシップがあってこそ、撲滅を実現させることができます」

次期リーダーが

新しい補助金モデルについて学ぶ

今年7月の未来の夢の全世界導入に備えるため、今年の国際協議会では、ロータリー財団の新しい補助金モデルについての研修と、そのためのリソースに焦点が当てられました。研修を受けたガバナー・エレクトと地区ロータリー財団委員長は、補助金モデルに関する豊富な知識を携えて各地区に戻り、地区の全ロータリアンが補助金を効果的に活用できるよう支援します。「未来の夢は、ロータリー財団が、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ・財団などの卓越した人道奉仕団体と並んで、真に傑出した団体となる機会をもたらすものです」と、未来の夢委員会の委員長を務めるルイス・ビセンテ・ジアイ RI 元会長は話します。「ロータリーの未来を確かなものとするには、堅固で、力強く、まとまりがあり、生き生きとして、競争力と国際性に満ちたロータリー財団、また、社会、ロータリアン、クラブのニーズに応えることのできるロータリー財団が必要です」補助金の数が3種類にまとめられた一方で、要件の数が以前よりも少ないなど、新補助金モデルの利点を紹介したジアイ委員長は、新しい地区委員会構成の下で新地区補助金を活用することで、クラブと地区が地元や海外のニーズに柔軟に対応できると説明しました。また、グローバル補助金では、活動の焦点を6つの重点分野に絞ることで、プロジェクトの影響と持続可能性がさらに高まる点を強調しました。

